

<(3)学年の重点指導目標(学習指導要領)>

- ① 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。
- ② 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。
- ③ 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

[共通事項] (1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。

イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。

月	学習事項	目標	時数	評価規準
4	・オリエンテーション	・美術の授業での留意事項を理解する。	1	・留意事項を理解することができる。
	・デッサン・クロッキー	・鉛筆で時間内に描く。	2	・特徴を捉えて描くことができる。(1)(2)(3)
5	・篆刻	・篆刻や石彫に関心を持ち図案や彫り方を工夫し、美しく実用的な表現をする。	10	図案と彫り方の関係を考慮し、表現を工夫し実用的で美しい作品を作ることができる。 (1)(2)(3)

6	・日本の美 ICT	・文様を鑑賞し、テーマを持ってデザインを考える。	2	・丁寧に描くことができる。(1)
7	文様・建築・仏像・工芸	・日本の美に親しみ、理解を深める。	1	・作品について発表することができる。(3)
	・期末考査	・(主に鑑賞に関する知識を出題。)		・テーマを考え、デザインを考えることができる。(3)
9	・自分を伝えるポスター	・自分と向き合い、自己表現することができる。	1 2	・日本の美に親しみ、理解を深める。(1)(3)
10	自画像を生かして これまでの技法を生かして			・実技、ペーパーテスト
				・自分の過去や将来をテーマとし前向きに作品を考えることができる。(3)
				・素材を集め、世界観を表現することができる。(2)(3)
				・配置や空間を考えることができる。(1)(2)
				・これまでの技法を効果的に生かすことができる(2)

1 1	・期末考査	・(主に鑑賞に関する知識を出題。)	1	・実技、ペーパーテスト
1 2	・芸術家の生き方 ICT	・芸術家の生き方や背景について理解を深め、作者の心情によりそう。	1	・芸術家の生き方や背景について理解を深め、作者の心情によりそうことができる。(1)
1	・美術3年間のまとめ	・3年間で学んだ内容の確認 ・その他美術の様々な知識や技能	5	・これまで学んだ事柄について、しっかりと理解し活用できる。 ・美術の幅広い技術や知識について学ぼうとする意欲がある。
2				
3				

<評価の方法>

観点1 (1)	(知識・技能)	: 実技テスト、筆記テスト、課題提出の内容
観点2 (2)	(思考・判断・表現)	: 実技テスト、授業への取り組み、課題の内容
観点3 (3)	(主体的に学習に取り組む態度)	: 授業へ取り組み、課題の内容、筆記テスト、ワークシートの内容

<評定算出にあたっての重みづけ>

観点	観点1 知識・技能	観点2 思考・判断・表現	観点3 主体的に学習に取り組む態度
重みづけ	1	1	1